

医科学専攻博士課程 コースツリー

博士課程DP

- 本課程に所定の期間在学し、修了に必要な単位を修得し、以下の能力・資質を修得し、かつ、必要な研究指導を受けた上で学位論文の審査及び最終試験に合格した学生に対して修了を認定し、博士（医学）を授与します。高度臨床医育成コース及びがん専門医療人育成コースの場合は、所属分野の専門医（又は認定医）の取得が必要となります。
- 1

自己の研究に関連する分野を中心にした医学，医療，医科学の高度で幅広い専門的知識を修得している。
- 2

医学、医療、医科学に対する社会的ニーズを踏まえた学術的意義、創造性等を有する研究を、高い倫理性を備え、社会への責任感を持って遂行できる。
- 3

国際的視野とコミュニケーション能力を有し、自己の研究成果を国内外の学会等で発表し、学術雑誌等において当該研究分野または社会に貢献する論文を執筆できる。

研究者育成コース		高度臨床医育成コース		総合診療・地域医療コース	がん専門医療人育成コース	医療過疎解消のためのグローバル地域医療学人材育成プログラム
博士学位論文						
選択科目				(コース選択必修)		選択科目 医理工農連携プログラム科目（医学系・総合理工学・生物資源科学・連合農学研究科連携科目） 医療のための工学＊ 機能性物質・食品の医療応用と環境影響＊ 臨床医学と社会・環境医学への高度情報学・数学の応用＊ 理工医学のための生物材料学及び放射線＊ 知的財産と社会連携
細胞生物学Ⅰ	細胞間情報伝達学Ⅰ	移植免疫学Ⅰ	発癌Ⅰ			
細胞生物学Ⅱ	細胞間情報伝達学Ⅱ	移植免疫学Ⅱ	発癌Ⅱ			
組織・器官系の構造と機能Ⅰ	細胞間情報伝達学Ⅲ	感染症学Ⅰ＊	腫瘍生物学Ⅰ			
組織・器官系の構造と機能Ⅱ	内分泌・代謝学Ⅰ	感染症学Ⅱ	腫瘍生物学Ⅱ			
組織・器官系の構造と機能Ⅲ	内分泌・代謝学Ⅱ	感染症学Ⅲ	腫瘍生物学Ⅲ			
器官系の病態構造Ⅰ	内分泌・代謝学Ⅲ	細胞間相互作用Ⅰ	腫瘍生物学Ⅳ			
器官系の病態構造Ⅱ＊	生体システム学Ⅰ	中毒学Ⅰ	臨床腫瘍学Ⅰ			
器官系の病態構造Ⅲ	生体システム学Ⅱ	中毒学Ⅱ	臨床腫瘍学Ⅱ			
器官系の病態構造Ⅳ	生体機能測定学Ⅰ	個人識別学Ⅰ	臨床腫瘍学Ⅲ			
発生生物学Ⅰ	生体機能測定学Ⅱ	個人識別学Ⅱ	臨床腫瘍学Ⅳ			
発生生物学Ⅱ	生体機能測定学Ⅲ	環境医学Ⅰ	臨床腫瘍学Ⅴ			
先天異常Ⅰ	分子病態学Ⅰ	環境医学Ⅱ＊	臨床腫瘍学Ⅵ			
先天異常Ⅱ	分子病態学Ⅱ	医学・医療情報学Ⅰ	地域がん治療学＊			
老化Ⅰ	分子病態学Ⅲ	医学・医療情報学Ⅱ	口腔腫瘍学			
老化Ⅱ	臓器病態学Ⅰ		がん医療社会学			
老化Ⅲ	臓器病態学Ⅱ		緩和ケア学			
分子機能学Ⅰ	臓器病態学Ⅲ		薬物動態学Ⅰ			
分子機能学Ⅱ	生体病態学Ⅰ		薬物動態学Ⅱ			
細胞機能学Ⅰ	生体病態学Ⅱ	Sustainability science and SDGs＊	腫瘍免疫学Ⅰ＊			
細胞機能学Ⅱ	生体病態学Ⅲ	Science for a sustainable society and future Earth ＊	腫瘍免疫学Ⅱ			
細胞内情報制御学Ⅰ	生体病態学Ⅳ					
細胞内情報制御学Ⅱ	基礎免疫学Ⅰ＊	特別実践研究（PBL型授業）				
神経科学Ⅰ	基礎免疫学Ⅱ	ジョブ型インターンシップ				
神経科学Ⅱ	臨床免疫学Ⅰ	(コース必修)				
神経科学Ⅲ	臨床免疫学Ⅱ＊	総合診療・地域医療学＊				
神経科学Ⅳ		医療疫学・統計学				
選択必修科目 基礎医科学＊ 応用医科学＊ 臨床医科学＊ 臨床腫瘍学総論＊						
必修科目 医学総合研究特論Ⅰ＊ 医学総合研究特論Ⅱ＊						